

あきつ

2021年10月15日発行

第 631 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野 順子

今号の一句



3棟M.Oさんの一句
「秋ですな〜」
イラスト
高松由有子さん

社会福祉法人 天童会は、重症心身障害児・者の入所施設である秋津療育園を母体として、園内託児を含む無認可託児所、通園センター、短期入所、相談支援事業などを展開して参りました。



本年は、地域支援事業拡大プロジェクトにおける児童発達支援センター、こどもクリニック、児童相談支援事業、事業所内保育事業を展開する複合施設(SLPセンター)が完成しそれぞれの事業を2月、3月に開設しました。そして、7月に訪問看護ステーションあきつを開設。コロナ禍での計画でしたので、人材募集、研修、広報活動などが思うように進捗せず、困難な幕開けとなりました。各関係機関の皆様には、訪問でのご挨拶に代わり、封書によるご挨拶となりましたこと、心よりお詫び申し上げますとともに今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

所長 大瀧ひとみ

訪問看護ステーションあきつ

7月 OPEN

いよいよ

令和3年7月1日、訪問看護ステーション「あきつ」を開設致しました。

本年は、地域支援事業拡大プロジェクトにおける児童発達支援センター、こどもクリニック、児童相談支援事業、事業所内保育事業を展開する複合施設(SLPセンター)が完成しそれぞれの事業を2月、3月に開設しました。そして、7月に訪問看護ステーションあきつを開設。コロナ禍での計画でしたので、人材募集、研修、広報活動などが思うように進捗せず、困難な幕開けとなりました。各関係機関の皆様には、訪問でのご挨拶に代わり、封書によるご挨拶となりましたこと、心よりお詫び申し上げますとともに今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

運営方針

- ①職員は療養者のアドボケート的存在として、人権やプライバシーを尊重したきめ細やかな看護や介護の提供に心がけます
- ②安全と信頼を得られるサービスを提供します
- ③ご家族への支援を大切にします
- ④地域との絆を大切にして包括ケアに努めます
- ⑤医療・介護・福祉について日々研鑽に努めます
- ⑥風通しの良い、笑顔の溢れる職場環境を目指します

開設にあたって

7月に指定を受けました。8月下旬にすべての広報準備が完成し、関係機関にご挨拶状とリーフレットを郵送させて頂きました。知名度を高め、少しずつご利用頂けます様努力をしております。また、皆様方のお近くに訪問看護を必要とされる療養者様がおられましたら当訪問看護ステーションをご紹介下さい。訪問看護専用の電子カルテを導入し、効率的な就業体制の整備をいたしました。



詳細は次のページをご覧ください

既に走りだしてはいますが、一日も早く、多くの訪問看護の必要な療養者様にご利用頂けることを願っております。
訪問看護サービス事業は、医療・介護保険を利用するサービスや自費によるサービスですが、当法人での初めての介護保険取扱い事業となりました。介護保険のしくみを理解する必要がありますが、利用者様に迷惑をおかけしないよう、地域の関係機関と連携をとりながら、療養者様、療養者のご家族をささえ、在宅でのより良い生活が営めるように、質の高い医療サービスの提供に心がけて行きます。
また、全てのサービスをを通して、療養者様、療養者のご家族に信頼される人間関係を築いて、いつの日か地域に必要とされる「訪問看護ステーションあきつ」を目指します。

訪問看護ステーション「あきつ」詳細

概要	<p>〈所在地〉 189-0002 東京都東村山市青葉町 3-32-26-101 〈電話〉 042-306-2106 〈FAX〉 042-306-2107 〈メールアドレス〉 houkan@tendoukai.net 〈ホームページ〉 https://www.houmonkango-akitsu.jp</p>	
サービスの提供地域	東村山市・東久留米市・清瀬市・所沢市・新座市・（その他の地域は相談ください）	
訪問看護とは	病気や障害を抱えながらご自宅で療養中の方に、看護師などのケアスタッフが訪問して療養生活のお世話や診療の補助を行なうサービスです。	
訪問看護サービスの仕組み	<p>(1)介護保険の訪問看護（公的な保険制度）要介護の認定、ケアマネージャーによるケアプランを必要とします。 (2)医療保険の訪問看護（公的な保険制度） (3)自費の訪問看護</p> <p>※(1) (2) は主治医からの「訪問看護指示書」による指示を受けます。 (3) は、医療行為を行う場合は主治医の指示が必要となります。 また、いずれのサービスも訪問看護ステーションと契約を結ぶ必要があります。</p>	
サービスの利用時間	<p>平日 9:00～17:00 定休日 土日祝日、夏季休暇（8月12～15日）、年末年始（12月29日～1月3日） 徐々に24時間オンコール対応、定休日の変更等実施予定です。</p>	
職員	常勤看護師4名（管理者1名、職員3名）が常駐しております	

以上 訪問看護ステーション「あきつ」のご紹介でした。



感染症に負けないぞ 写真館



今号も各病棟からたくさんの活動写真が届きました
みんなの元気な姿をお届けいたします

1棟はアクセサリー作り・スイカ割・デザートバイキング・ボッチャ・七夕・納涼会 2棟はケーキ会・スイカ割り・トランポリン・外・誕生日会 3棟は納涼会 4棟からはスイカ割り・納涼会・料理教室です



スイカ割り

今年も八百忠様より「スイカ」のご寄付をいただきました
ありがとうございます



4棟では、とても大きなスイカを見て、驚いている表情が印象的だったそうです。棒や手でスイカをたたいたり、スイカに触ったり楽しいスイカ割りを行う事ができました。2病棟ではジュースにしてみんなで飲んだそうですよ～。



デザートバイキング
 ボッチャ・七夕
 トランポリン 散歩
 アクセサリー制作

3棟の納涼会では、各部屋でお神輿を作り、順番に神輿を見せて回りました。中庭で花火を鑑賞したり、園生・職員一緒に盆踊りを踊りました。他各棟もいろいろな工夫があったようです。



納涼会



スイカ割と夏祭り 通園センター

スイカ割

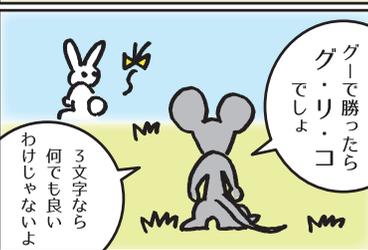
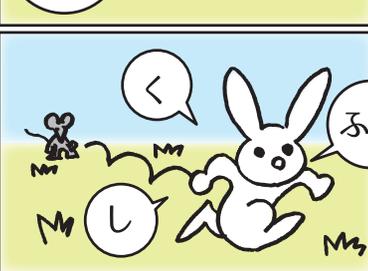
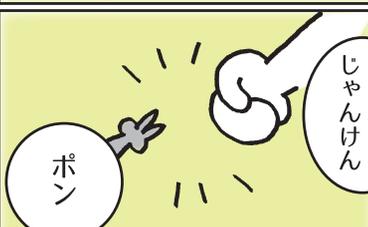
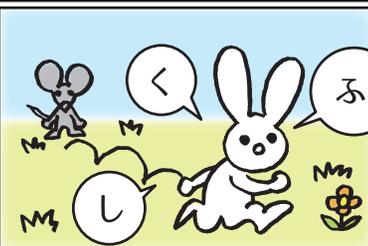
スイカ割の雰囲気を出してBGMと背景を準備しました。各自、好きな棒を選んで、スイカ目がけて振り下ろす利用者有り、スイカ自体を投げて割る利用者有りでした。最後はみんな美味しく頂きました。

夏祭り

今年もご家族の参加は見合わされませんでした。が、3週に分けて、和太鼓、体感種目、魚釣りをしました。魚釣りは、釣り上げた数を競います。100匹を釣り上げたKさんとTさんが優勝しました。来年も楽しい夏祭りが出来るよう今から思案しています。



100日後に就職するウサギ 第5話 作・早川里英



秋津療育園利用者のお散歩コース紹介 お散歩マップ 空堀川 その1

当園のすぐ近くには、川が流れています。「所々水がない瀬切れした状態で名前も空堀川。秋津療育園利用者の定番散歩コースです。遊歩道が整備され安心、季節ごとの風景も楽しめます。空堀川は武蔵村山から清瀬まで流れる一級河川。柳瀬川へと合流します。1940年には「砂川」と呼ばれていたそうです。現在も橋梁には名称に「砂」が入るものが4存在します。途中お魚を発見したり、重が顔をのぞかせていたり、とこのかなのです。空堀川さん、これからもよろしくお願いたします。

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

秋津アーカイブス

秋田おぼこ 草野時治

秋田放送の「あれから40年、今どこに」というテレビ企画の取材を受けました。40年程前、「秋田おぼこ」の名で大変話題になった人達（人出不足の時に秋田から就職してくれた人）がいたわけですが、当時20歳位ですから、もう60歳を超えておられる方々です。その中には今も当園と繋がりのある方々がいます。記念行事にも来て頂いています。お子様が当園に就職した例もあります。

昭和40年から45年に38名の秋田おぼこが当園で働きましたが、若い人が飛び込んでくるような職場でなかった当時の社会情勢の中で、若い人達が積極的に福祉の世界へ入る契機となりました。秋田おぼこの方々のうち、現在も9名の方々が各地の福祉関係の仕事で活躍されているとのことでした。

秋津療育園の障害児を通じて人間が育っているんだなど、私達のこれまでの歩みは決して無駄ではなかったと思います。

（平成23年8月1日あきつ新聞より）

*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

ご寄付 高橋輝行・珠美様、坂本潔様、秋津療育園後援会様、金子由紀子様、鈴木ゆり子様、丸山キヨ様、山本鐵子様、西片町教会教会学校様、御寄付をたまわりまして誠にありがとうございます。皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。 社会福祉法人 天童会

編集後記 「秋田おぼこ」直訳すると「秋田の若い年頃の娘」だそうです。施設で働くことが一般的でなかった時代に当園を支えてくれました。私はまったく違う世界から秋津療育園に入職しました。100日後に就職するウサギさんの様に、福祉の職場を望んでいたわけでもありませんでした。在職中の今、先人の歴史を知ること、今在る自分の姿を見直すことができるかな?と感じております。 (池田 雄)

あきつ 第631号 E-mail: jimukyoku@tendoukai.net HP: http://www.tendoukai.jp 発行人/飯野 順子 発行/年4回1・4・7・10月発行

